

# 2波の叩きの地平に確信固め 選挙上映物販で総決起総団結も確認

## 支部間交流 報告(1) 館山で8支部



86. 6. 17

No. 2268

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五(六・公衆)〇四七二(22)七二〇七

六月十二日、館山支部において本部より水野副委員長、山下、重見特執、新藤青年部長を迎え、勝浦・成田・津田沼・幕張・千葉・佐倉・木更津の支部から十九名、そして館山支部組合員四十数名をまじえて、約七〇名で支部間交流会が開催された。交流会は五時間にもおよぶ終始熱気のなか、選挙闘争、上映・物販の取り組みなどを確認し、大成功をかちとった。

### 久しぶりの「支部間交流」 に熱気

交流会は、受け入れ支部の館山支部書記長が開会を宣言し、本部の山下氏を座長に選出、本部水野副委員長から「われわれをとりまく情勢」と「今後の勤労千葉の進むべき方向」が、熱気をはらんだ決意が示された。そして、受け入れ支部を代表して笹生支部長より出席者に挨拶・御礼が述べられた。

そして、今回の交流会の最大テーマの七・六ダブル選挙に三区立候補・辻田実氏がみえられ「中曽根・自民党政治の方向性に対する危機感、国鉄分割・民営化反対」等々、勤労千葉とともに闘う挨拶がなされ、交流会は一気に盛り上っていった。

### 「辻田実必勝」へ 一人十票獲得を

塩崎書記長から「国鉄関連法案阻止のため選挙における三区社会党・辻田実の必勝にむけ、一人十票獲得運動を展開しよう」との基調提起が行われた後、この間、東京・広島に上映運動オルグに向いた重見氏よりその苦労話や、広島での労働組合・労働者の活動状況や、勤労千葉の名が広島の地にまで響きわたっていること等々、われわれの興味をさそい報告が行われ、苦労話などに爆笑がまきおこった。

当面する取り組みに論議集中、館山支部は先頭で闘う

昼食後、各支部代表から「七・六同日

### 当面する主なスケジュール

- 18日(木) 参院選公示 - 1区、4区出陣式、
- 19日(木) 3区(辻田実)出陣式、
- 20日(金) 東京・三多摩上映会、青年部常任委員会、
- 21日(土) 衆院選公示 - 2区出陣式、弁護団会議、東京・中央上映会、
- 22日(日) 二期阻止・三里塚現地集会、
- 23日(月) 野球大会(第1回予選)、
- 24日(火)~25日(水) 退職強要粉碎対策会
- 25日(木) 大阪上映会、
- 26日(木) 青年部労働講座「合理化とマル生」、3区合選、
- 27日(金) 船橋地区上映会、
- 28日(土) 労働学校・第9回講座「国鉄関連法案批判」
- 29日(日) 仙台上映会、広島上映会、

選挙、夏季手当格差問題、物販活動、上映運動、遮光幕、ネクタイ」等々の取り組みについて熱い報告がなされ、山下座長の司会で積極的な討論が展開された。総括として水野副委員長より「久しぶりに支部間交流を開催し、きわめて意義のある集会としてかちとられた。物販活動については、各支部の奮闘ぶりがかえ、大層たのしく感じた。始まったばかりで全体の運動とまでいっていない点が今後の課題である。上映運動や選挙闘争ときわめて重要な活動が連続するなかで全組合員、とりわけ三区居住の館山、勝浦、木更津支部の皆さんの協力と、地区労働組合の他単産に物販への協力を訴えて頂きたい」としめくくった。

最後に、山下座長の閉会の挨拶をもって交流会でかちとった意義を全体で確認し、延べ五時間にわたる「支部間交流」は大成功のうちに終了した。

「館山支部通信員S生・発」